

若者を巻き込みながら集落を持続・発展させる力

- ・原動力は「限界集落」の危機感！集落再生への取り組み
- ・若手パワーをいかに巻き込み「地域おこし」の人材として育てていくか
- ・協力隊任期終了後の生業づくり 等について学びます

開催日時	令和2年10月12日(月) - 13日(火) 1泊2日
講師	春日俊雄氏(荻ノ島ふるさと村組合長) 田口太郎氏(徳島大学准教授 ※リモート出演) 多田朋孔氏(NPO法人 地域おこし事務局長)
対象者	地域活動をされている方、地域おこし協力隊、行政職員など
定員	14人(※お申込み多数の場合は調整をお願いする場合があります)
宿泊	荻ノ島かやぶきの里(新潟県柏崎市高柳荻ノ島1090-2)
申込締切	<u>10月2日(金)</u>
参加費	10,000円 *移動・宿泊・朝夕食・1日目の昼食、保険料を含みます

※2日目の昼食のみ各自負担です

講師紹介



春日俊雄氏

1951年生まれ。大阪府松原市役所、高柳町役場、柏崎市役所に勤務。農山村滞在型交流観光プロジェクトに主導的に参画。現在、新潟産業大学専任講師。同大学附属柏崎研究所長、地域連携センター長、観光カリスマ、荻ノ島ふるさと村組合長。



田口太郎氏

1999年早稲田大学理工学部建築学科卒。小田原市政政策総合研究所特定研究員などを経て、2011年10月徳島大学総合科学部准教授。中越地震被災地で活動する地域復興支援員の研修活動、集落支援員や地域おこし協力隊向けの研修講師としても活躍。



多田朋孔氏

特定非営利活動法人地域おこし理事・事務局長。2010年より地域おこし協力隊として新潟県十日町市にある当時6世帯13名の限界集落だった池谷集落に家族で移住。米づくりや体験交流事業、移住促進の取組も行い池谷集落は限界集落から脱却。

視察先紹介



“じよんのびできる”かやぶきの里 荻ノ島ふるさと村組合

かやぶきの宿を平成5年に開始。その後、人口減少や高齢化等の課題に対応し共に支え合うため、平成22年に地域協議会を設立した。
○平成28年から社会福祉法人との相互訪問を開始し、農家と障がい者が連携し支え合う体制を構築。
○大学生を受け入れ、フィールドワークや草刈り等の農地維持活動を共同で実施。
○インターンシップを受け入れ、移住・定住を推進している。

10月12日(月)

7:25 高岡砺波スマートインター集合出発
 7:50 流杉スマートインター発
 8:20 黒部インター発
 10:30-11:45 萩ノ島かやぶきの里 見学&講義
 12:00-13:30 昼食&見学
 (道の駅「高柳 じょんのび村」)



「じょんのび」とは「ゆったりのんびり芯から心地よい」という意味のお国言葉

平成6年度に滞在型交流観光施設としてスタート!

施設内には黒姫山麓から引湯した温泉や宿泊施設・レストラン・地元の野菜や山菜・食材を扱うやませみ庵などがあります

(移動)

13:45-16:45 萩ノ島かやぶきの里 講義

17:00-18:00 (入浴)

18:30-20:30 萩ノ島の方と意見交換会

10月13日(火)

7:30 朝食
 9:00-11:30 萩ノ島かやぶきの里 講義
 (移動)
 12:30-14:30 昼食(上越あるるん村内
 「ビュッフェレストラン「六花の里」)



あるんです。季節の恵み、おいしい出会い。春の桜、夏の高、秋の爽り、冬の雪。美しい四季に囲まれたこの地域には古くから自然と共に生き、そこに出会い、人の輪の広がる喜びがありました。誰もが「あるるん」と、こころはずませ、しあわせを繋いでいく...そんな村が「ある」んです。



食と農のテーマパーク 上越あるるん村

「ビュッフェレストラン六花の里」「農家レストラン おかげさま」農産物直売所など

JAえちご上越が「地域の食と農を守り、未来の子供達の笑顔につなげたい!」とプロデュース

(移動)

15:40 黒部インター着

16:10 流杉スマートインター着

16:40 高岡砺波スマートインター着・解散

集合・解散場所

QRコードで地図が表示されます!

高岡砺波スマートインター
 駐車場・バスのりば
 (富山県砺波市下中条)



流杉スマートインター
 下り駐車場
 (富山市流杉大場島割504-1)



黒部インター
 駐車場
 (黒部市萩生)



10/12-13 合同研究会 参加申込書

締切: 10月2日(金)

FAX: 076-482-3635 / e-mail: info@gt-toyama.net

* 複数名でのお申込みも可能 * お申込み多数の場合は調整をお願いする場合があります

お名前:	乗車予定のインター:
所属:	
当日連絡のつく電話番号:	
メールアドレス:	